

平成 26 年度岡山大学社会文化科学研究科博士前期課程【9 月募集】入学試験問題

講 座	言語情報論
専門科目 1	言語学

【解答はすべて解答用紙に記入すること】

I)

1) 次の①～⑤のそれぞれについて、3つの基本母音（IPAによる）に共通する調音的特徴を挙げ（日本語でも英語でもよい）、その特徴を持つ（3つの基本母音以外の）基本母音を一つ記しなさい。

例) [i][ɯ][u] 答: 狭 [u] (または, close [u])

① [o][y][u] ② [a][e][y] ③ [i][ɯ][e]

④ [u][ɔ][a] ⑤ [o][ɤ][ø]

2) 次の①～⑤（IPAによる）に挙げた摩擦音(fricative)と調音の場所、声帯振動の有無が同じ破裂音(plosive)を記しなさい。

例) [ɸ] 答: [p]

① [x] ② [z] ③ [β] ④ [ç] ⑤ [ɣ]

3) 日本語のザ行頭子音を例として、音素と異音の関係を説明しなさい。

II) 次の語を形態素分析しなさい。

shamar 守った

shomer 守っている

shamur 守られる

shmor 守る (こと)

ganab 盗んだ

goneb 盗んでいる

ganub 盗まれる

gnob 盗む (こと)

平成 26 年度岡山大学社会文化科学研究科博士前期課程【9 月募集】入学試験問題

講 座	言語情報論
専門科目 1	言語学

III) 次の (1), (2) の名詞句に含まれる連体修飾節について, A と B の統語的な違いを述べなさい。

- (1) A: さんまを焼いている男
B: さんまを焼いているにおい
- (2) A: 彼女が作ったケーキ
B: 彼女がケーキを作った話

IV) 次の用語の中から 3 つを選び, 具体例を挙げながら説明しなさい。

接近音(approximant), 同系(cognate), 文字論(grammarology),
壁塗り構文(spray paint hypallage), 因子分析(factor analysis),
言語決定論(linguistic determinism), 連語(collocation), 異分析(metanalysis),
言語連合(Sprachbund)